

1. 環境チャレンジ目標2030

環境チャレンジ目標 エコチャレ 2030

目標年度：2030年度

2030年に向けた
環境チャレンジ目標を
2018年度に策定し、
取り組みを
推進しています。



チャレンジ1

2050年度には、
排出量実質ゼロを
めざす!

事業活動における
CO₂排出量を半減!

重点施策

- 設備更新／車両更新
- 省エネチューニング
- 太陽光自家発電・自家消費
- 電気自動車・トラックの導入
- コープでんきへの切替



チャレンジ2

事業活動における
食品廃棄物を半減!

重点施策

- 店舗廃棄重量削減
- フードバンクなどへの食品提供拡大
- 食品リサイクル率向上



チャレンジ3

事業活動における
**プラスチック使用量を
25%削減!**

重点施策

- プラスチック製容器包装の削減
- 再生プラやバイオプラなど代替素材への切り替え推進
- プラ削減につながる商品・サービスの開発・供給促進



チャレンジ4

環境に配慮したエシカルな
商品やサービスの
開発・供給推進!

重点施策

- 環境配慮型のエシカルな商品・サービスの開発・供給推進
- 地産地消の推進



チャレンジ5

組合員とともに
エシカル消費を拡大!

重点施策

- エシカルな商品、エシカルな暮らしのあり方に関する学習・広報の推進
- 組合員とともにエシカル消費を拡大



2.「環境チャレンジ目標2030」にもとづく2024年度計画

〈チャレンジ1〉CO₂排出量を半減！

- 再エネ100%事業所の対象事業所数を維持。
- 省エネチューニングは契約満了に伴い終了。省エネ設備を残置する等、継続して省エネに注力。
- 配送効率の向上(走行距離・使用燃料の削減)と、AIを活用したコース整理。
- 設備更新の際、省エネ設備(冷ケース・LED・空調)への切替えを促進。

〈チャレンジ2〉食品廃棄物を半減！

- 食品残さ回収対象店舗を59店舗からさらに6店舗追加し、65店舗に拡大。
- 「てまえどり」のさらなる推進。
- CD豊岡に設置した生ごみ処理機の安定稼働をめざす。

〈チャレンジ3〉プラスチック使用量を25%削減！

- 商品の容器包装や店舗・宅配のプラ資材の使用量削減策を検討。
- 畜産ノントレイの一部改装店のコーナー化による商品政策を推進。
- 広報・学習会を通じ「マイバッグ運動NEXT」の推進強化。
- 宅配内袋の回収、リサイクルし、店舗の店頭回収袋に再利用。

〈チャレンジ4〉環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進！

- 6月と10月のエシカル強化月間にエシカルな商品の企画・供給促進。
- コープでんきの理解を深める取り組みを推進(エコファーム ソーラーシェアリングの野菜をプレゼント)。
- 寄付機能付きペットボトル減容回収機の設置と寄付金の贈呈。
- 海洋プラかごの導入を計画。設置を計画。
- 羽毛回収・リサイクルについて、店舗での継続実施・強化(ダウンジャケットの積極回収)。
- 組合員・行政・他社と連携し、つめかえパックリサイクルの取り組みを強化。

〈チャレンジ5〉組合員とともにエシカル消費を拡大！

- 「玉津のつどい場(たまろっと)」のSDGs拠点化を推進。
紙リサイクル機器「ペーパーラボ」を活用し、資源循環・障がい者雇用の取り組みを推進。
- エシカルやSDGsに関する講演会・学習会(オンライン含む)を実施し、地域全体で取り組みを推進。
- 阪神・淡路大震災30年を迎え、防災をテーマとした「地域つながるフォーラム2024」を開催。
- 全店舗でのフードドライブ常時受付の継続。店舗・宅配での集中取り組みを年2回開催。
- 職員研修(「まNabi」)ツールでSDGs関連映画の視聴・学習企画を開催。
- 日生協主催のコープサステナブルアクション(「生き物探し」「Web学習会」等)に参画。
- 宅配運営部と連携し、古紙めーむ・宅配内袋の返却の呼びかけ強化を実施。回収率向上を促進。
- 「ラジオ関西」にて環境の取り組み(「コープエコのはなし」)を毎月放送(継続)。
- 「きょうどう」にて持続可能な農業・食育に関するコラムを掲載。

3. 環境チャレンジ目標「エコチャレ2030」の2023年度達成状況

【チャレンジ1】

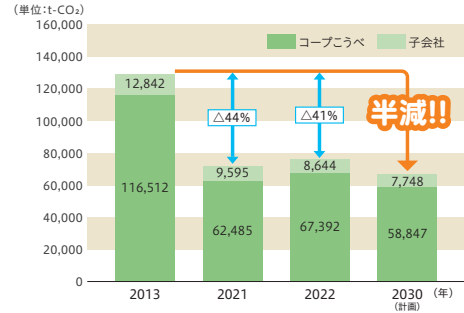
事業活動におけるCO₂排出量を半減！

〈取り組み・達成状況〉
エネルギー使用量の削減や再エネ100%事業所の展開など、「量の削減」・「質の改善」両面に取り組み。

**CO₂排出量(2022年度※)は
基準年(2013年)比59%(▲41%)と順調に削減。**

※CO₂排出量は最新の2022年度確定値を記載
(2023年度実績は2024年11月頃に確定)。

■2030年までのCO₂削減計画



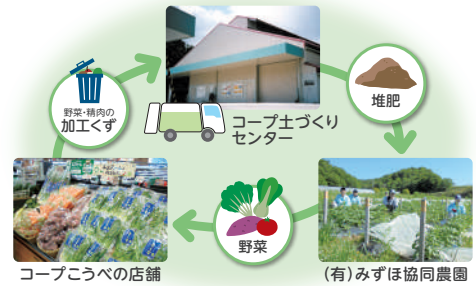
【チャレンジ2】

事業活動における食品廃棄物を半減！

〈取り組み・達成状況〉
エコファーム残さ回収店舗の拡大、店舗・宅配・食品工場でのロス削減強化。

基準年(2015年)比108.8%に増加。

※店舗の廃棄ロスは減少したが、土づくりセンターの回収停止のため全体の食品廃棄物が増加。



【チャレンジ3】

事業活動におけるプラスチック使用量を25%削減！

〈取り組み・達成状況〉
容器包装や資材における使い捨てプラスチックの削減、学習会対応、広報強化に取り組み。

基準年(2017年)比89.4%に削減。

■ノントレイ商品の導入
ノントレイ商品の導入に向けて店舗での実験供給を開始。



マイバッグ運動NEXT

【チャレンジ4】

環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進！

〈達成状況〉
エシカルな商品や「コープでんき」の普及・拡大、脱プラ施策の強化等を実施。



コープスのフレンドリーバナナ

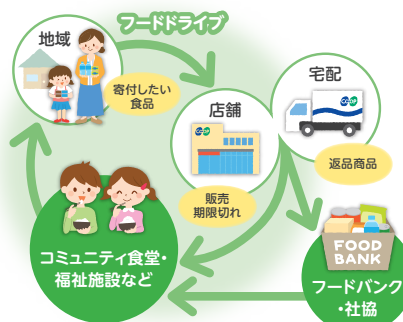


生産地のフィリピンミンダナオ島のビスカイヤ農園

【チャレンジ5】

組合員とともにエシカル消費を拡大！

〈達成状況〉
コロナ第5類への移行後、リアル・オンライン等を併用しエシカル消費・活動を展開。



フードドライブ



「てまえどり」呼びかけの様子